

” 17歳の心” 2001. 12. 17(mon)

17歳の女子高校生からお手紙を頂いた。担任の先生に受験に有利と言われ、気乗りのしないまま生徒会役員を引き受けた。ところが、やってみるとその仕事は自分には決して負担にならず、むしろそれがために自己の存在感を得、充実した高校生活を送っている。しかし、それを羨む陰口が耳に入り、世渡り的な引き受け方故に、少し葛藤を感じているとのこと。
(「小さな人間たちの詩」にも掲載)

本ページでも以前書きましたが、心理学者マズローが人類の究極的な目的は自己実現だと言うように、彼女は現在置かれている状況において正に自己実現しているが故に、充実感を得てるんであって、それがたとえ世渡り的な引き受け方がきっかけであっても、その任務をも全うしているのであれば、批判される理由もないと思いますね。そんなことに拘らず、大いに勉学に、生徒会に自分を発露なされればいいと思いますね。

” ボランティア活動を滞らせる「助成」って” 2001. 12. 6(thu)

どんな事情がおありでも、活動が終了し、完了報告書もすべて送付し、チェックも受けて丸々3ヶ月、今に活動が終了してから4ヶ月になろうとしているのに、未だに「助成金」が降りてこないってことがあるんでしょうか？「助成ってそんなものだよ。」って言われれば、それで終わり。初めてのことで、私は、助成ってそんなものだとは全く知りませんでした。ここ数ヶ月、このことには触れまいとじっと我慢して参りましたが、私にも限界があります。私、大変失望しております。この間、月末になる度に問い合わせると、「来月の中頃には・・・」と。それを信じて、3回目。仏の顔も3度まで。たかが30万5千円と言われても、この不景気では立て替え払いしてありますと、私達のようなボランティア団体(NPO)には、大変きついんです。

それでも気になって本日電話を入れると、「書類で1点聞きたいことがありましたので、留まっております。」エッ?!なに!じゃあ、こちらから電話をしなかったら、年を越してたの?今月の22日から始まる冬の自然合宿どころではない。5千円でも、たとえ千円でも、その場で払って下さる企業の皆さんの浄財の方が、ホントに私達のようなボランティア活動を支えてくれます。今日からそうして支援して下さる企業の皆さんの所に歩いていこうと思います。勿論、すべての助成に対して言っているわけではありません。たった1つの「助成」に対してです。分かりますか?私達の気持ちを、〇〇様。2000件に近い申請があっても、それが予想をはるかに上回っていても、事業として始めてたら、滞ることも、止めることもできないんです。みんなが期待し、あてにしてもう既に動き始め、とうに終わってるんです。

” 「楽しく学ぶ算数指導講座」終わる” 2001. 12. 3(mon)

昨日遂に、岡本光司・元静岡大学教育学部教授に計5回に渡って指導をお願い致しました。「楽しく学ぶ算数指導講座」が終わりました。この間私、ホント色々と学ばせて頂きました。

その中でも、ただ算数のおもしろさ・素晴らしさを指導するだけではなく、その裏にある数学的な考え方・理念を学ぶことが出来たのは大変な収穫でした。と言うよりは、日頃受験や試験ばかりを意識して指導する余りに、すっかり忘れ去られ、いや、我々指導者は本来はこうしたことをしっかり身につけた上で指導しなくてはならないことをすっかり棚に上げてしまってきたことを大いに反省させられました。

しかし、一方でこの反省は、少子化と長引く不況で厳しい経営を強いられておりますこの学習塾業界にあつて、いよいよ新学習指導要領が実施されます来年度に向けて、当スクールでの、特に小学生の算数指導においての大変革をもたらす企画の大きな原動力になりました。

岡本先生、本当にありがとうございました。勿論のこと、これだけで先生の求められる算数指導を理解したとは思っておりませんが、今回の講座の中で学ばせて頂きましたことを元に私なりにアレンジした企画を年明け早々に発表したいと思います。算数だけでも、ほんと興味は深いです。

” こんな私も研修会の講師に ” 2001. 11. 30 (fri)

ほぼ一ヶ月、すっかり無沙汰致しました。お久しぶりです。これにはちょっと訳がありまして、今日はちょっとその話を致します。勿論、この 11 月は土日も NPO の活動が入り、忙しかったこともありますが、この 11 月 28 日 (水)、この私にも研修会の講師の依頼があったのです。この拙い日誌をお読み頂いております皆様には申し訳ありませんでしたが、私、久しぶりの講話で、この一ヶ月その準備をしていたのであります。研修会は、榛原町で行われた榛原郡教育相談委員研修会で、私共、NPO 静岡県教育フォーラムで行っております、不登校等の児童・生徒への実践的な対応について話してもらいたいとのことでした。教育に関しては大先輩の教育相談員の皆様を前にお話しさせて頂くとあつて、私も今回はじっくり準備させて頂きました。しがしながら、そうなるとう然に、当日は 80 分の講話の予定が 120 分にもなっても終わりきれず、詳しくはあらかじめ準備しておきました資料に任せる結果になりましたが、その後の昼食会を含めて、どうか私共の行っております対応の理念と方法の概略はご理解して頂いたかと思ひます。私にとつてもこの間、NPO 以前からの 20 数年間の子ども達の関わりを振り返らせて頂き、また、5 年ほど前から取り入れました交流分析による心理カウンセリング資料の分析もできまして、大変充実した一ヶ月でありました。ここでまとめました資料は、本ホームページに新たなページを設けまして皆様に公開しようと考えておりますが、図表もありますので、掲載可能か今暫く検討させて下さい。

これからも、塾・予備校では冬期講習、NPO では教育講演会、冬合宿と忙しい毎日が続きますが、少しでもこの日誌は続けていこうと思つてます。今後とも宜しくお願ひ致します。

” 南新屋町内会、青島第 8 自治区運動会総合優勝！！ ” 2001. 10. 23 (tue)

今日は非常にローカルな話題であります。表題通り、先日 10 月 21 日 (日) に行われた、

ここ藤枝の第25回青島第8自治区運動会で、我が南新屋町内会は一昨年につき、2度目の総合優勝を成し遂げました！！バンザイであります。加えて、私も最後尾で頑張らせて頂きました「綱引き」も、G氏がインターネットで取り寄せてくれましたマル秘必勝マニュアルが効を表し、これまた一昨年につき、見事に優勝致しました。小学生から大人まで参加して行われる総合リレーでは、優勝こそ逃しましたが（これまで優勝すると、一昨年同様3種目完全優勝になっちゃいました）、アンカー・H氏の猛烈な追い上げで準優勝に輝きました。こうなると、慰労会は盛り上がりますね。これまでにない多くの参加者で公民館は満員！とまではいきませんが、軽く予算オーバー（だったと思います）。町内会長！ありがとうございました！m（　　）m

夕方5時から10時頃まで、まあ～こうなると私も含め皆様、みんな競技を振り返り、ワイワイとヒーロー気分でございます。いや～、実に盛り上がりました。この一晩は、ここ南新屋では不況の風はどこかへ吹き飛んでおりました。いいものですね、こんな町内会は。ちなみに、昨年は確か3種目とも準優勝でありました。（昨年は私、仕事のため慰労会のみさんかでした。・・・）

” まだまだ「子はかすがい」 2001. 10. 18 (thu)

と、思いたいですね。自分達の子どもを虐待死させ、遺棄するという信じられない事件が起こる昨今、もう19年も前の未明、確か午前4時46分だったと思いますが、産まれたばかりの長男をこの両手で抱いたときの何とも言えない感激を思い出します。どのようないきさつであれ、どのような境遇であれ、自分の子どもが宿った時の感激もさることながら、我が子の誕生を実感した時の感激はこの上ないもの。と同時に、初めて親としての責任の重さも実感するんですね。色々なご相談を受けるこの頃、痛ましい事件をも見聞きし、ちょっとこんなことを書き留めたくなっちゃいました。

” 現代っ子・小景” 2001. 10. 13 (sat)

かわいい子 追い求めつつ 多感な中2

ちょっとした 誉め言葉から 変わるこの子ら

All over the world と書きながら 「世界中」って英語でなんて言う？と聞く

come を コメと読む こめった子

遊びを知らぬ” 遊び人”

よく言ったもの、「子を叱るな、自分が来た道じゃ。親を笑うな、自分が行く道じゃ。」

“まだまだ「子はかすがい」 2001. 10. 5 (fri)

表題通り、この所NPO・静岡県教育フォーラムで申請しておりました2件の助成が見送られてしまいました。ちょっと無念さが残ります。2件は私共静岡県教育フォーラムの今年度下期の事業で、不登校生の野外活動支援助成と、同じく学習支援助成でした。

理由はそれぞれに違っておりますが、いずれも私の勉強不足で、初めての大型助成申請で勝手が分からないことが起因しており、理事の皆様には申し訳なく思っております。昨今の深刻な不景気の時代、助成の有無はこうしたボランティア事業に大きく影響致します。しかし、事業は既に始まっており、そんなことに気落ちせず、ただ今事業規模を縮小して、後援企業の皆様にご支援をお願いして回っております次第です。残念ながら、同じ内容の事業であっても、いかに説得力のある事業計画書を書き上げるかなんですね。来年度の助成をなんとしても勝ち取るためにも、今年度も効果のある実績を積み上げていくことは勿論、その点も勉強しなくては思っております。(このところ、静岡カヌークラブの会長さんに同じことを言われております。トホホ・・・)

p s . 時々本ホームページを覗いてくれています静岡オープンスクールの塾生諸君、塾長も大変なんだよ。塾だけじゃあないんだから。でもね、こうした事業も(NPO・静岡県教育フォーラムの事業ー野外体験活動指導や心理カウンセリング研修などーのことだよ。)、子ども達の教育に携わる限り大事なことだと先生は考える。君たちも、特に野外体験活動にも参加してみなよ。まず自然観が変わるよ。ね、T君に、EちゃんとMちゃん。R君も覗いてるのかな？

（“不登校を経験したお子様を持つ母親からの手紙” 2001.10.3(wed) は「小さな人間たちの詩」に移しました。ご了承ください。）

” 怠業の相談、相次ぐ” 2001.9.30(sun)

ほんと、このところこちらの日誌をさぼりっぱなしで、他人の”怠業”の相談を受けるより、自分の”怠業”を直さなくちゃいけないですね。

でも、不思議ですね。この6月から立て続いて6件、このご相談がきており、今月は同じ中学校で、しかも同じ中3でお2人の相談をお受け致しました。勿論1件1件事情は全く異なりますし、その原因をそう断定しているわけではありませんが、頑張りすぎによる疲れ、背伸びによる自立不全、母子分離不安、いずれも精神的な弱さが見え隠れしているように感じます。

つい先日、このところカヌースクールで対応しているある中学3年生の子のことで、その子に私共を紹介して下さった方から電話があり、「この間久しぶりに〇〇君に会ったけど、ずいぶん変わったねえ。何よりも明るくなったし、伸び伸びしてきて自信を持ってきたよう感じたよ。紹介してよかったよ。」と言って下さいました。嬉しい限りです。確かにその子は変わってきました。

自然と心のふれあいの中で自分を見付け、自信を取り戻し、自己再生が出来てくれば、自然と怠業も消えていってしまうように思うんですが・・・いかがでしょうか？(久しぶりの日誌。やはり毎日何かを考え、何かを表現していくことは大事ですね。頑張って書き込んでいきます。宜しくお付き合い下さい。)

”元藤枝ブルックス・現アビスパ福岡に寄せる思い” 2001.9.16(sun)

この頃仕事に追われ、すっかりサッカーから遠のいてしまい、実に寂しい限りです。折角BSを入れたのに（お恥ずかしい話、やっと入れたんであります）、Jリーグ1stステージも一度も見ることなく終わり、ボードリーダーのはずのニフティも、この頃殆ど書き込みが出来ない状態で、その責任を感じ始めております次第です。

確かに2学期も始まり、ホントちっぽけな予備校&学習塾ながら、30数名の大学受験生と20数名ほどの高校受験生を抱えております故に、どうしてもそちらに神経がいつてしまう。仕方がないことかもしれません。

しかし、昨日、磐田で行われた「全国ホームタウン in 磐田」への出席のため、はるばる福岡から来られたアビスパ福岡後援会のIさんにお会いし、Iさんのアビスパに寄せる思いをお伺いするに、何か自分の内の中に再び疼くものを感じました次第です。2002年W杯で、現在南米6位のコロンビアにキャンプ地誘致を表明しておりますここ藤枝にあって、サッカーの街・藤枝を復活させるには何から出来るだろうか？

”平成12年度赤い羽根共同募金で、カヌー一式を受配。” 2001.9.13(thu)

このたび平成12年度の「赤い羽根共同募金」から寄付金を頂きました。お礼とご報告を申し上げます。赤い羽根共同募金様;、ありがとうございます。頂きました寄付金で、カヤック1台、パドル1台、ライフジャケット（大人用）1着を購入させて頂きました。

特定非営利活動法人・静岡県教育フォーラムは、法人認証以前よりこれまで約20年に渡り、青少年達の野外教育活動や体験学習活動を行って参りました。そうした中、10年程前から不登校やいじめなどの悩む子ども達や問題行動に走る子ども達の相談が増加し、本格的な心理カウンセリング研修を開催する一方で、同研修を継続的に受けているスタッフで、その対応をしてまいりました。近年は野外教育活動にカヌーを取り入れ、大自然の中で様々な子ども達と共に野外活動を行うことで群れ集う楽しさを体得し、自分の力でカヌーをコントロールすることで自信の獲得と新たな自己の発見を試みております。ただ、そうした活動や事前のカヌー研修のスタッフ使用カヌーのレンタル料（1台8千円から1万円）は私達スタッフで負担してきましたが、活動が重なるにつれ、やはりその経済的負担も大変になっておりました。そのような折、「赤い羽根共同募金」から寄付金を頂き、スタッフ一同大変感謝しております。募金をして下さった多くの皆様の温かいお気持ちを胸に、大切に使用させていただきます。

”怠業の相談、相次ぐ” 2001.9.30(sun)

ほんと、このところこちらの日誌をさぼりっぱなしで、他人の”怠業”の相談を受けるより、自分の”怠業”を直さなくちゃいけないですね。

でも、不思議ですね。この6月から立て続いて6件、このご相談がきており、今月は同じ

中学校で、しかも同じ中3でお2人の相談をお受け致しました。勿論1件1件事情は全く異なりますし、その原因をそう断定しているわけではありませんが、頑張りすぎによる疲れ、背伸びによる自立不全、母子分離不安、いずれも精神的な弱さが見え隠れしているように感じます。

つい先日、このところカヌースクールで対応しているある中学3年生の子のことで、その子に私共を紹介して下さった方から電話があり、「この間久しぶりに〇〇君に会ったけど、ずいぶん変わったねえ。何よりも明るくなったし、伸び伸びしてきて自信を持ってきたよう感じたよ。紹介してよかったよ。」と言って下さいました。嬉しい限りです

確かにその子は変わってきました。自然と心のふれあいの中で自分を見付け、自信を取り戻し、自己再生が出来てくれば、自ずと怠業も消えていってしまうように思うんですが……いかがでしょうか？

(久しぶりの日誌。はやり毎日何かを考え、何かを表現していくことは大事ですね。頑張ってお書き込んでいきます。宜しくお付き合い下さい。)

”元藤枝ブルックス・現アビスパ福岡に寄せる思い” 2001.9.16(sun)

この頃仕事に追われ、すっかりサッカーから遠のいてしまい、実に寂しい限りです。折角BSを入れたのに（お恥ずかしい話、やっとうれしたんであります）、Jリーグ1stステージも一度も見ることなく終わり、ボードリーダーのはずのニフティも、この頃殆ど書き込みが出来ない状態で、その責任を感じ始めております次第です。確かに2学期も始まり、ホントちっぽけな予備校&学習塾ながら、30数名の大学受験生と20数名ほどの高校受験生を抱えております故に、どうしてもそちらに神経がいつてしまうのも仕方がないことかもしれません。しかし、昨日、磐田で行われた「全国ホームタウン in 磐田」への出席のため、はるばる福岡から来られたアビスパ福岡後援会のIさんにお会いし、Iさんのアビスパに寄せる思いをお伺いするに、何か自分の内の中に再び疼くものを感じました次第です。2002年W杯で、現在南米6位のコロンビアにキャンプ地誘致を表明しておりますここ藤枝にあって、サッカーの街・藤枝を復活させるには何から出来るだろうか？

”平成12年度赤い羽根共同募金で、カヌー一式を受配。” 2001.9.13(thu)

このたび平成12年度の「赤い羽根共同募金」から寄付金を頂きました。お礼とご報告を申し上げます。“赤い羽根共同募金”、ありがとうございます。頂きました寄付金で、カヤック1台、パドル1台、ライフジャケット（大人用）1着を購入させて頂きました。

特定非営利活動法人・静岡県教育フォーラムは、法人認証以前よりこれまで約20年に渡り、青少年達の野外教育活動や体験学習活動を行って参りました。そうした中、10年程前から不登校やいじめなどの悩む子ども達や問題行動に走る子ども達の相談が増加し、本格的な心理カウンセリング研修を開催する一方で、同研修を継続的に受けているスタッフで、その対応をしてまいりました。近年は野外教育活動にカヌーを取り入れ、大自然の中で様々

な子ども達と共に野外活動を行うことで群れ集う楽しさを体得し、自分の力でカヌーをコントロールすることで自信の獲得と新たな自己の発見を試みております。ただ、そうした活動や事前のカヌー研修のスタッフ使用カヌーのレンタル料（1台8千円から1万円）は私達スタッフで負担してきましたが、活動が重なるにつれ、やはりその経済的負担も大変になっておりました。そのような折、「赤い羽根共同募金」から寄付金を頂き、スタッフ一同大変感謝しております。募金をして下さった多くの皆様の温かいお気持ちを胸に、大切にさせていただきます。